

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小林貴彦
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3612
<b>事務事業名</b>	4250 教育委員会運営費											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100101 教育費・教育総務費・教育委員会費										
	<b>事業</b>	010000 教育委員会運営費										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
教育行政に民意を反映させ、子どもたちや市民に豊かな教育を施すため、教育委員会の円滑な運営を図る。						月1回の定例教育委員会及び臨時教育委員会を開催し、教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の進展に寄与する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催	月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		3,521	3,916
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,521	3,916
人員数(人)	正規職員	0.4	0.5
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	3,555.5
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,173.9	3,885.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		6,694.9	7,801.0

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	58	全国規模の小・中・高等学校競技会・発表会出場激励金51 謝礼7
10節 需用費	0	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	146	県都市教育委員会連絡協議会負担金 ほか146
その他	3,317	教育委員報酬3,317

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	197	小・中・高等学校競技会・発表会出場選手激励金190 謝礼7
10節 需用費	8	消耗品8
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	152	県都市教育委員会連絡協議会負担金 ほか152
その他	3,559	委員等報酬3,559

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	地方教育行政の根幹をなす事業であり必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	制度を維持するために必要な事業	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	概ね効率的に運用している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
教育負委員会、総合教育会議を円滑に開催し、教育行政の進展を図った

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

教育委員会、総合教育会議を円滑に開催し、教育行政の進展を図る

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

定例教育委員会及び臨時教育委員会を開催し、教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の進展を図った。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



指標名	学校に行くのは楽しいと思う児童の割合						
算式						単位	%
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	特色ある教育・学校づくりの延長線上にあると考える						
最終年度目標の根拠	義務教育課程であり、全ての児童・生徒に共通の目標である						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		18,904	13,171
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,553	6,365
一般財源		15,351	6,806
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.3	0.4
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,555.5	3,555.5
	会計年度(フル)	988.5	1,318.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,544.0	4,873.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		23,448.0	18,044.5

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	25	自然体験学習看護師謝礼ほか25
10節 需用費	2	消耗品 ほか2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,629	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金、自然体験学習宿泊費負担金ほか13,629
その他	5,248	自動車借上料、自然体験学習バス借上げ ほか5248

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	30	消耗品5 食糧費10 印刷製本費15
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	7,509	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金、自然体験学習宿泊費負担金 ほか7,509
その他	5,632	自動車借上料、自然体験学習バス借上げ ほか5,632

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	各学校が工夫を凝らして特色ある学校づくりをするためには事業費が必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	学校の裁量で使える事業費があることで学校の特性に合わせた事業が可能になり、より高い効果が期待できる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	全学校が共通して行う事業については市が予算を確保して直接発注することにより、効率的に、経費を抑えながら実施できる	

振り返り（決算年度の取組み課題）

峰の原高原自然体験学習のペンション分宿については学校行事として定着し、スムーズに実施することができた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

工夫をしながら継続して進めていきたい

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

特色ある教育・学校づくりを学校・家庭・地域がともに連携し、推進している。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	山本雅代
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4255 教育支援事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	事業	020000 教育支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂市教育支援委員会条例に基づき、心身に障がいのある児童及び生徒の適切な就学を図る。				教育支援委員会の体制整備 ①教育支援委員会の開催 ②校内教育支援委員会の開催 ③特別支援教育コーディネーター等連絡会全体会の開催			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。	市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
適切な就学を図るための相談事業を行う。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		679	764
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		679	764
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	3,295.0	3,295.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,006.1	4,006.1
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,685.1	4,770.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	14	特別支援学校訪問土産14
10節 需用費	223	消耗品費(検査用紙代)213、食料費9
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	442	教育支援委員会委員報酬432、費用弁償10

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	46	研修会講師謝礼30、特別支援学校訪問土産16
10節 需用費	185	消耗品費（検査用紙代）170、食料費15
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	533	教育支援委員会委員謝礼520、費用弁償13

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	適切な就学を図るための相談事業を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童生徒の就学に関し判断を行い、ふさわしい学級・学校への進路を決定する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	各種研修会を実施する。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

支援を必要とする児童生徒の適切な就学を図ることができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き適切な就学を目指して支援していく		児童生徒の適切な就学を図った。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山本雅代
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4256 不登校児童生徒支援事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費										
	<b>事業</b>	030000 不登校児童生徒支援事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
不登校や学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員等を配置する。また指導主事等が学校と連携し、問題解決に努める。						不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、相談を受けたり、学習室や相談室などにおける支援を行い、不登校や学級不適應の原因の究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行う等、学校内・家庭と連携しながら、学校への登校、学級への復帰を図る。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援や家庭への支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行うことで、多くの児童・生徒の心の安定が図られた。	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援や家庭への支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行うことで、多くの児童・生徒の心の安定が図られた。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
不登校や、学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員等を配置する。また指導主事等が学校と連携し、問題解決に努める。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名						単位	%
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	%
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	%
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		23,445	25,252
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	7,788	10,000
一般財源	15,657	15,252	
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	1,647.5	1,647.5
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	2,512.7	2,512.7
市民一人当たりの経費	0.5	0.5	
総額	25,957.7	27,764.7	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	20	子育て支援セミナー講師謝礼20
10節 需用費	73	中間教室消耗品73
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	23,352	給料13,916、職員手当等2,535、共済費3,405、旅費14、通信運搬費33、手数料3,449

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	98	中間教室消耗品99
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	25,154	給料14,002、職員手当等3,402、共済費3,705、旅費78、通信運搬費40、手数料3,927

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	不登校対策は、最重要課題の一つであり、児童生徒の将来的な「社会的自立」に向け、必要不可欠な支援である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	学校、不登校児童生徒支援員、市、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が連携し、家庭への支援も行いながら、学校への登校、学級への復帰を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	学校と連携し、学校教育課指導主事や、スクールソーシャルワーカー等が各学校のスクリーニング会議、支援会議等に参加して支援を行っている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

家庭への支援の必要なケースも増えてきており、学校、市、スクールソーシャルワーカー等が連携して、医療や福祉につなげる等、専門的な立場からの支援を行うことができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
義務教育課程の学習保障の面からも重要な事業であり、引き続き関係者・関係機関と連携しながら実施していく		スクリーニング会議の充実とともにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携し、実施していく。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山本雅代
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4257 教育活動支援事業						
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	<b>事業</b>	040000 教育活動支援事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
小・中・支援学校において、きめ細かい行き届いた教育を行うため、教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置し、指導主事は学校への指導や、保護者からの相談への対応等を行う。医療的ケア児を支援するため「医療的ケア運営協議会」を設置する。				教員補助員は、担任だけでは支援しきれない、個別に支援を必要とする児童生徒の支援に当たり、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行う。 外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でない児童生徒に対し、専門的な指導と支援を行い、授業の補助や保護者との意思疎通を図る。指導主事は学校への巡回や学校への指導、助言、また保護者からの相談等に応じ、円滑な学校・学級運営を図る。 小学校等における医療的ケア児に関する総括的な管理体制を構築するため「医療的ケア運営協議会」を開催する。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
教員補助員を配置し、支援を必要とする児童生徒の支援を行い、担任を補助した。また外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行い、教育活動の充実が図られた。指導主事により、適切な学校へのな指導、助言や保護者からの相談への対応等が図られた。	教員補助員を配置し、支援を必要とする児童生徒の支援を行い、担任を補助した。また外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行い、教育活動の充実が図られた。指導主事により、適切な学校へのな指導、助言や保護者からの相談への対応等が図られた。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置し、小・中・支援学校において、きめ細かい教育を行う。また指導主事を配置し、学校への適切な指導等や、保護者からの相談への対応等を行う。「医療的ケア運営協議会」においてガイドラインの策定等を行う。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		108,253	121,787
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	491	491
	地方債	0	0
	その他	37,010	50,693
一般財源		70,752	70,603
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	2.0	2.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	6,590.0	6,590.0
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	8,166.3	8,166.3
市民一人当たりの経費		2.2	2.5
総額		116,419.3	129,953.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,917	外国籍児童生徒支援員謝礼2,917
10節 需用費	0	
12節 委託費	655	子どもの生活・学習支援事業委託655
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	104,681	教員補助員報酬69,521、給料7,127、職員手当等11,555、共済費14,738、旅費1,740

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,836	外国籍児童生徒支援員謝礼3,708、教員補助員研修会講師謝礼30、委員等謝礼98
10節 需用費	0	
12節 委託費	655	子どもの生活・学習支援事業委託655
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	117,296	教員補助員報酬72,665、給料7,223、職員手当等17,236、共済費17,868、旅費2,304

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員補助員、外国籍児童生徒支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒に対して、個々に寄り添ったきめ細かな支援を行う。</li> <li>指導主事を配置し、学校への指導・助言や、保護者からの相談への対応等を行う。</li> <li>「医療的ケア運営協議会」を設置し、小学校等における医療的ケア児に関する総括的な管理体制を構築する。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員補助員は、担任だけでは支援できない、個別に支援を必要とする児童生徒の支援にあたり、教育活動の充実を図る。</li> <li>外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でない児童生徒に対し、個別の指導、支援を行う。</li> <li>指導主事は学校への巡回、指導、助言等を行い、円滑な学校・学級運営を図り、また保護者からの相談への適切な対応等を行う。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	教員補助員等の配置により、担任を補助し、また指導主事の配置により学校への適切な指導、助言を行うことで、円滑な学校・学級運営を図る。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

教員補助員や、外国籍児童生徒支援員の配置により、支援を必要とする児童生徒に寄り添った決め細かい支援を図ることができた。また、指導主事を配置し、学校への巡回や、指導、助言、学力向上に向けた研修等を行い、学校への支援を行ったほか、保護者からの相談等に適切に対応することができた。

「医療的ケア運営協議会」の設置に向け、要綱を作成し、また子ども課等と連携しながら準備を進めた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
支援を必要とする児童生徒に対して、個々の事情に寄り添ったきめ細かい支援を実施し、併せて教員が働きやすい環境づくりの一翼を担っている	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
支援を必要とする児童生徒に寄り添った決め細かい支援を図ることができた。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	土屋真由
	全体計画			経費区分	-	内線	3616
事務事業名	4258 奨学金事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	事業	050000 奨学金事業					
事業目的				事業概要・効果			
奨学金制度は、経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図ると共に、社会性に優れた人間を育成することを目的とする。				貸付金額 高校生 公立・月額 10,000円以内 私立・月額 21,000円以内 高専生 月額 17,000円以内  大学生 国公立 自宅通学 月額 26,000円以内 自宅外通学 月額 33,000円以内 私立 自宅通学 月額 36,000円以内 自宅外通学 月額 50,000円以内			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。	高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		5,672	6,569
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,540	6,567
一般財源	132	2	
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,422.2	1,422.2
市民一人当たりの経費	0.1	0.2	
総額	7,094.2	7,991.2	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,672	奨学金貸付金5,672他

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,569	奨学金貸付金6,569 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	修学が困難な学生に経済的援助を行い、教育の機会均等を図るために必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	社会性に優れた人間を育成することを目的としている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	効率的に事務を執行している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
高校へのPRも奏功して問合せが増え、2名の奨学生を選定した

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
産業連携開発課と連携して、地元就職を条件とした返済免除制度の活用をPRしていく		高校へのPRを行い、制度を周知していく。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山本雅代
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4295 教育相談事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費										
	<b>事業</b>	060000 教育相談事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについての問題解消に努める。						小学校に入学後、個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援を実施する。 スクールカウンセラーや心の教室相談等を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。	教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		6,149	7,069
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	16
	地方債	0	0
	その他	1,565	12
一般財源		4,584	7,041
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.1
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	308.2	154.1
	計	1,019.3	865.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		7,168.3	7,934.2

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,582	スクールカウンセラー謝礼3,517、学校問題解決支援チーム会議委員謝礼65
10節 需用費	185	発送検査用紙の購入185
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,382	報酬1,631、職員手当等269、共済費305、旅費146、通信運搬費31

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4,046	スクールカウンセラー謝礼3,695、学校問題解決支援チーム会議委員謝礼351
10節 需用費	266	発達検査用紙の購入266
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,757	報酬1,656、職員手当等362、共済費357、旅費349、通信運搬費33

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談員が小学校を巡回し、幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添った継続支援を行う。</li> <li>スクールカウンセラーや心の相談員を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼・保・小の連携した継続支援を行う。</li> <li>多くの児童生徒に対し、スクールカウンセラーや心の相談員が、悩みに共感したり、助言や指導を行っている。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	<p>悩みを抱えた児童生徒に対しては、スクールカウンセラーの他、家庭支援の必要なケースに関しては、県に派遣を依頼したスクールソーシャルワーカーにつなげるなど、関係機関と連携した支援を行っている。</p>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

心の相談員は、中学校の図書室に配置され、生徒が気軽に相談することができた。またスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーが学校と連携し、家庭への支援を含めた必要な支援を行い、児童生徒の心の安定を図ることができた。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
スクールソーシャルワーカーの配置など、相談体制の充実により要支援児童、生徒、保g粗野に適切な助言等を行えている		引き続きスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーと学校が連携し、家庭への支援を含めた必要な支援を行っていく。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本雅代
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	9770 就学援助事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	070000 就学援助事業											
事業目的							事業概要・効果						
経済的に苦慮している保護者に就学援助を行い、教育の機会均等を図る。							要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することで、経済的負担の軽減を図る。 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、就学奨励費を支給することで、経済的負担の軽減を図る。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
保護者からの申請に基づき適正な認定作業を行い、就学援助費及び就学奨励費を支給する	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		54,291	72,383
特定財源	国庫支出金	1,680	1,239
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,124	40,000
一般財源		42,487	31,144
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.6	0.6
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	924.6	924.6
	計	1,635.7	1,635.7
市民一人当たりの経費		1.1	1.4
総額		55,926.7	74,018.7

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	80	就学援助システム委託料80
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	211	峰の原高原児童生徒通学費負担金211
その他	54,000	通信運搬費25、システム使用料259、就学援助費・特別支援教育就学奨励費53,716

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	80	就学援助システム委託料80
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	218	峰の原高原児童生徒通学費負担金218
その他	72,085	通信運搬費25、システム使用料260、就学援助費・特別支援教育就学奨励費71,800

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	教育の機会均等を図るため、就学援助費及び就学奨励費を支給する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	就学援助補及び就学奨励費を支給することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	認定基準の見直しを実施し、2022年度の申請（2022年2月事前支給）から新たな基準で認定を行い、支援を必要とする世帯に必要な援助を行っている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

- ・認定会議を行い、適切な認定を行った。
- ・2021年度より、オンライン学習通信費を対象経費とし、学校と連携しながら適切な支給を行った。
- ・2022年度支給から認定基準を見直し、2月の事前支給から実施した。事前に周知し、来庁者には個別に説明を行ったため、円滑に実施することができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
2021年度、2022年度と2年連続で制度の充実と見直しに着手した。引き続き適切な運用により制度を必要としている家庭を支援していく		認定基準に沿って認定を行い、支援を必要とする世帯に必要な支援を行っている。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	土屋真由
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3612
<b>事務事業名</b>	4259 教職員住宅事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100104 教育費・教育総務費・教員住宅費										
	<b>事業</b>	010000 教職員住宅事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
教職員の住宅希望に応えるため、教職員住宅の維持管理と確保を図る。						教職員住宅の維持管理、入居希望に対応した。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
教職員の住宅希望に応えるため、教職員住宅の維持管理と確保を図る。	教職員の住宅希望に応えるため、教職員住宅の維持管理と確保を図る。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
教職員の住宅希望に応えるため、教職員住宅の維持管理と確保を図る。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		0	100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	100	100
一般財源		△100	0
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,422.2	711.1
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,422.2	811.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	100	教職員住宅の修繕・クリーニング100
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	低い
評価コメント	民間のアパートもあり必要性は低い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効ではない
評価コメント	民間のアパートの方が快適	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	効率的に事務を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）
維持管理に必要以上のコストをかけずに管理できた

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
入居していた教員が転居したので、廃止とする		入居していた教員が転居したので、廃止とする。	

## 外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>					担当者 元田 敏夫 経費区分 内線 3613
全体計画				-		
事務事業名	4261 小学校管理運営事業					
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課					
施 策	03021000 特色ある教育の推進					
予算 科目	会計	01 一般会計				
	科目	100201 教育費・小学校費・学校管理費				
	事業	010000 小学校管理運営事業				
事業目的			事業概要・効果			
小学校の維持管理や運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。			小学校の維持管理 学校雨罩の円滑な実施 教育環境の維持管理  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備	小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備	小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備	小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		186,619	194,546
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,280	1,613
一般財源		185,339	192,933
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	659.0	659.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,503.4	3,503.4
市民一人当たりの経費		3.6	3.8
総額		190,122.4	198,049.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4	盆栽借用等謝礼
10節 需用費	101,039	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費(電気・ガス・水道・下水道使用料)、修繕料
12節 委託費	3,201	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,977	教科研究費負担金、上田市委託児童負担金
その他	78,398	土地借上げ料、機器賃借料ほか78,398

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	21	盆栽借用等謝礼
10節 需用費	100,169	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費（電気・ガス・水道・下水道使用料）、修繕料
12節 委託費	3,689	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,201	教科研究費負担金、上田市委託児童負担金
その他	81,466	土地借上げ料、機器賃借料ほか81,466

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	小学校における教育環境整備等は必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	小学校における教育環境整備等、適正な管理運営を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	小学校における教育環境整備等の適正な管理運営を行い、経費の節減に努めている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

小学校における教育環境整備等の適正な管理運営を行うことができた。コロナ禍では、常時換気をしながらの空調運転となり、世界経済が正常化に向けた動きを見せる中で、原油価格のほか、天然ガス価格も高騰しています。LPガスでは、昨年度価格との比較で、1㎡当たり100円～120円値上がりしているのが現状で、須坂市立学校空調設備運用指針（2019年5月）を基に、各校で更なる創意工夫を重ねた運転を心がけていただいたが、燃料費への大幅な予算流用をせざるを得ない状況が生じた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適正に管理運営ができていますが、新型コロナウイルス感染症対応で光熱水費等に影響が出ている		適切に管理運営を行った。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	元田 敏夫
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4262 小学校施設整備事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100201 教育費・小学校費・学校管理費									
	<b>事業</b>	020000 小学校施設整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、児童の安全確保や教育環境の改善を図る。						児童が安全で快適に学校生活が送れるよう、学校施設の危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に改修する。  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
日野小学校プールシート防水工事 市内7小学校防災機能強化工事 小学校放送設備更新	豊洲小学校プールろ過機更新工事設計 井上小学校学級数増加による空調設備設置工事 森上小学校大規模改造等工事（繰越）
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
旭ヶ丘小学校プールろ過機更新工事設計 豊洲小学校プールろ過機更新工事	須坂小学校・須坂支援学校大規模改修工事設計業務委託 森上小学校プールろ過機更新工事設計 旭ヶ丘小学校プールろ過機更新工事
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
仁礼小学校大規模改修工事手直し設計 須坂小学校・須坂支援学校大規模改修工事 森上小学校プールろ過機更新工事	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		1,653	17,505
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	23,753	12,000
一般財源		△22,100	5,505
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	329.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,462.8	2,133.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.4
総額		4,115.8	19,638.3

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	476	設計監理委託料476
14節 工事請負費	1,177	工事請負費1,177
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,000	設計監理委託料1,000
14節 工事請負費	16,505	工事請負費16,505
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	児童が安全安心で快適に学校生活が送れるようにするため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	児童が安全安心で快適に学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	施設の状況を把握し、危険な箇所や損傷の著しい箇所を優先して改修を実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

学校施設長寿命化計画に基づき、森上小学校大規模改造等工事（繰越）を実施することができた。施設の状況を把握する中で、児童が安全安心で快適な学校生活が送れるように施設修繕等を行なえた。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
学校施設の計画的な改修を進めることができている。 2024年度の須坂小学校大規模改修工事に向けて準備して行く。		学校施設の計画的な改修を進めることができた。 施設の状況を把握する中で、児童が安全安心で学校生活を送れるように施設修繕等を行った。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	七海 翔太
	全体計画			経費区分	-	内線	3615
事務事業名	4263 小学校教育振興事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費					
	事業	010000 小学校教育振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。				教育DX推進のため、主要教科のデジタル教科書及びデジタル教材を導入及び主体的、対話的で深い学びを行うための教材備品を整備する。  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		20,663	24,284
特定財源	国庫支出金	731	658
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	16,686	3,000
一般財源		3,246	20,626
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	2,133.3
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,751.7	2,462.8
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		22,414.7	26,746.8

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	304	謝礼304
10節 需用費	7,054	消耗品7,054
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,305	手数料・備品購入費・教材備品購入費・図書購入費13,305

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	407	謝礼407
10節 需用費	11,410	消耗品費（2020年度～教師用教科用図書等費用含む）11,410
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	12,467	手数料・備品購入費・教材備品購入費・図書購入費12,467

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	各種教材備品の整備を行い、教育効果を高めるため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育効果・効率性を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

教育効果を高めるため、各種教材整備のほか、主要教科のデジタル教科書整備を行った。  
 図書館教育の充実のため、蔵書の整備を行った。  
 総合学力調査（小学1年を除く）を実施し、基礎・基本の学力の定着の確認と今後の指導に活かした。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

教育効果を高めるための各種教材備品の整備を行っている

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

教育効果を高めるための各種教材備品の整備を行った。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	田川 哲仁
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3614
<b>事務事業名</b>	4264 小学校情報教育事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100202 教育費・小学校費・教育振興費										
	<b>事業</b>	020000 小学校情報教育事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
パソコン教室等の整備により、基本的な情報機器の操作や調べもの学習での活用、情報化社会でのモラル教育等今後必要となる知識を学習できる。						小学校の教職員に貸与する校務用パソコンや教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等。  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		81,331	85,510
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	31,931	60,000
一般財源	49,400	25,510	
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	1,647.5	1,647.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,780.8	3,780.8
市民一人当たりの経費	1.6	1.7	
総額	85,111.8	89,290.8	

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	471	消耗品費、修繕料等471
12節 委託費	7,494	校務用パソコン入れ替え、保守点検、情報教育支援業務委託料等7,494
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	73,366	機器賃借料68,025、受信料2,066、システム使用料2,947、授業目的公衆送信補償金328

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	829	消耗品費、修繕料等829
12節 委託費	14,154	事務機器保守点検委託料、情報教育支援業務委託料等14,154
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	70,527	機器賃借料70,493、受信料34

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	情報活用能力の育成に係るGIGAスクール構想の推進のため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの整備・保守のほか、ICT支援員を配置したことで、情報教育をより一層推進している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの整備・保守のほか、ICT支援員を配置したことで、校務や授業等において有効活用している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍での加速化されたGIGAスクール構想により配備した教育用パソコン（1人1台）の本格運用が開始された年度であるが、文科省が提唱するアジャイル思考に基づき、試行錯誤を繰り返しながら教育ICT機器の運用・整備を進めてきたが、ICT活用推進委員会と連携できたことで、オンライン授業をはじめ、各単元での教育ICT機器利活用が進み、情報教育の推進が図られた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ICT機器の導入整備が一気に進んだ。今後、導入した機器の更新を計画的に実施し、情報通信環境を活かした学習を継続していく		ICT活用推進委員会と連携し、オンライン授業をはじめ、各単元での教育ICT機器利活用が進み、情報教育の推進が図られた。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小林貴彦
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3612
<b>事務事業名</b>	6730 小学校国際化教育推進事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100202 教育費・小学校費・教育振興費										
	<b>事業</b>	030000 小学校国際化教育推進事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
児童が外国語を通して、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていく。						児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てていけるように役立てる。 市内の小学校6年生の全クラスにおいて、海外在住者（英語をネイティブの言語とする方）とインターネットでつなぎ、英語を使ったオンライン交流を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
市内小学校へ、5・6年生に年28回、3・4年生に年15回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		10,618	11,832
特定財源	国庫支出金	0	627
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,618	11,205
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.2	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	659.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	659.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,277.0	11,832.0

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	40	小学校外国語活動講師謝礼40
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,578	英語指導助手委託料10,578
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,832	英語指導助手委託料11,832
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深めるために必要不可欠な事業。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	児童が直接外国人に接することで、外国語の音声や基本的な表現に親しみ、コミュニケーション能力が育てられている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受託先と長期継続契約を締結しているため、経費は変わらない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めていけるよう事業を進めた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ALTによって授業に差が生じないように、授業づくりの改善に力を入れていく		児童が直接外国人に接することで、外国語の音声や基本的な表現に親しみ、英語力が育てられている。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	元田 敏夫
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4267 中学校管理運営事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100301 教育費・中学校費・学校管理費										
	<b>事業</b>	020000 中学校管理運営事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
中学校の維持管理運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。						中学校の維持管理運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		122,433	126,093
特定財源	国庫支出金	1,061	1,344
	都道府県支出金	1,061	1,344
	地方債	0	0
	その他	1,994	662
一般財源		118,317	122,743
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	659.0	659.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,503.4	3,503.4
市民一人当たりの経費		2.4	2.5
総額		125,936.4	129,596.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	635	盆裁借用等謝礼、卒業生徒記念品、中学校部活動謝金ほか635
10節 需用費	56,829	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費(電気、ガス、水道、下水道使用料)、修繕料等56,829
12節 委託費	1,731	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料等1,731
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,303	教科研究費負担金、上田市委託生徒負担金ほか5,303
その他	57,935	報酬24,336、給料2,803、ほか30,796

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	747	盆栽借用等謝礼、卒業生徒記念品、中学校部活動謝金等747
10節 需用費	56,406	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費（電気、ガス、水道、下水道使用料）、修繕料等56,406
12節 委託費	1,935	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料等1,935
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	4,821	教科研究費負担金ほか、上田市委託生徒負担金等4,821
その他	62,184	報酬25,149、給料2,812、ほか34,223

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	教育環境整備等、学校の適正な管理運営を行うため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行い、経費の節減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

中学校における教育環境整備等の適正な管理運営を行うことができた。コロナ禍では、常時換気をしながらの空調運転となり、世界経済が正常化に向けた動きを見せる中で、原油価格のほか、天然ガス価格も高騰しています。LPガスでは、昨年度価格との比較で、1㎡当たり100円～120円値上がりしているのが現状で、須坂市立学校空調設備運用指針（2019年5月）を基に、各校で更なる創意工夫を重ねた運転を心がけていただいたが、燃料費への大幅な予算流用をせざるを得ない状況が生じた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適正に管理運営ができていますが、新型コロナウイルス感染症対応で光熱水費等に影響が出ている		適正に管理運営を行った。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	元田 敏夫
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	13516 中学校施設整備事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100301 教育費・中学校費・学校管理費									
	<b>事業</b>	030000 中学校施設整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、生徒の安全確保や教育環境の改善を図る。						生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に改修する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
中学校放送設備更新	東中学校プールろ過機更新工事設計
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
常盤中学校プールろ過機更新工事設計 東中学校プールろ過機更新工事	相森中学校プールろ過機更新工事設計 常盤中学校プールろ過機更新工事
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
相森中学校プールろ過機更新工事	

指標名	無し				
算式					
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		490	20,426
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	779	15,000
一般財源		△289	5,426
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	329.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,462.8	2,133.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.4
総額		2,952.8	22,559.3

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	490	設計委託料490
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,000	常盤中学校プールろ過機更新工事設計1,000
14節 工事請負費	19,426	東中学校プールろ過機更新工事19,426
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	生徒が安全安心で快適に学校生活が送れるようにするため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	生徒が安心安全で快適に学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	施設の状況を把握し、危険な場所や損傷の著しい場所を優先して改修を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の状況を把握する中で、生徒が安全安心で快適な学校生活が送れるよう施設の整備を行った。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

学びの環境を維持するために学校施設の計画的な改修を進めていく。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

施設の状況を把握する中で、生徒が安全安心で快適な学校生活が送れるよう施設の整備を行った。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	七海 翔太
	全体計画			経費区分	-	内線	3614
事務事業名	4269 中学校教育振興事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100302 教育費・中学校費・教育振興費					
	事業	010000 中学校教育振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
教育効果を高めるための教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。				教育DX推進のため、主要教科のデジタル教科書及びデジタル教材の導入及び主体的、対話的で深い学びを行うための教材備品を整備する。  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		13,231	12,239
特定財源	国庫支出金	753	360
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	23,930	1,900
一般財源		△11,452	9,979
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,751.7	1,751.7
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,982.7	13,990.7

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,936	消耗品、教師用指導書・教科書購入代2,936
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	10,295	手数料2,563、備品購入費1,064、教材備品購入費3,676、図書購入費2,992

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,293	消耗品費3,293
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,946	手数料2,765、備品購入費381、教材備品購入費2,800、図書購入費3,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	各教材備品の整備を行い、教育効果を高めるため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育効果・効率化を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

教育効果を高めるため、各種教材整備のほか、主要教科のデジタル教科書整備を行った。  
 図書館教育の充実のため、蔵書の整備を行った。  
 総合学力調査を実施し、基礎・基本の学力の定着の確認と今後の指導に活かした。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

教育効果を高めるために各種教材備品の整備を行った

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

教育効果を高めるために各種教材備品の整備を行った

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	田川 哲仁
	全体計画			経費区分	-	内線	3614
事務事業名	4270 中学校情報教育事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100302 教育費・中学校費・教育振興費					
	事業	020000 中学校情報教育事業					
事業目的				事業概要・効果			
中学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借を行う				中学校の教職員に貸与する校務用パソコンや教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等。  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		29,970	27,482
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	15,576	19,000
一般財源		14,394	8,482
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	1,647.5	1,647.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,780.8	3,780.8
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		33,750.8	31,262.8

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	214	消耗品・修繕料214
12節 委託費	2,944	事務機器保守点検委託料2,944
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	26,812	機器賃借料、受信料26,812

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	312	消耗品費、修繕料312
12節 委託費	5,366	事務機器保守点検委託料5,366
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	21,804	機器賃借料、受信料21,804

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	情報活用能力の育成に係るGIGAスクール構想の推進のため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの整備・保守のほか、ICT支援員を配置したことで、情報教育をより一層推進している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの整備・保守のほか、ICT支援員を配置したことで、校務や授業等において有効活用している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍での加速化されたGIGAスクール構想により配備した教育用パソコン（1人1台）の本格運用が開始された年度であるが、文科省が提唱するアジャイル思考に基づき、試行錯誤を繰り返しながら教育ICT機器の運用・整備を進めてきたが、ICT活用推進委員会と連携できたことで、オンライン授業をはじめ、各単元での教育ICT機器利活用が進み、情報教育の推進が図られた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ICT機器の導入整備が一気に進んだ。今後、導入した機器の更新を計画的に実施し、情報通信環境を活かした学習を継続していく		ICT活用推進委員会と連携し、オンライン授業をはじめ、各単元での教育ICT機器利活用が進み、情報教育の推進が図られた。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小林貴彦
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3612
<b>事務事業名</b>	4272 中学校国際化教育推進事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100302 教育費・中学校費・教育振興費										
	<b>事業</b>	030000 中学校国際化教育推進事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
生徒の言語や文化の理解の深化、積極的なコミュニケーション態度の育成、聞く・話す・読む・書くの4技能の基礎能力を向上させ、コミュニケーション能力の基礎を養う。						市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めていけるように役立てていく。 市内の中学校2年生の全クラスにおいて、海外在住者（英語をネイティブの言語とする方）とインターネットでつなぎ、英語を使ったオンライン交流を行う。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		10,578	11,502
特定財源	国庫支出金	0	462
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,578	11,040
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	659.0	659.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	659.0	659.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,237.0	12,161.0

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,578	英語指導助手委託料10,578
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,502	英語指導助手委託料11,502
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	生徒の言語や文化の理解の深化、積極的なコミュニケーション態度の育成等に必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力が高まっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受託業者と長期継続契約を締結しているため、経費に変わりはない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めていけるよう事業を進めた

**ACTION****1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ALTによって授業づくりに差が出ないように、授業づくりを改善していく		生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力向上につながっている。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	元田 敏夫
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	8237 特別支援学校管理運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100401 教育費・特別支援学校費・特別支援学校費											
	事業	010000 特別支援学校管理運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
特別支援学校の維持管理や運営に要する経費で、教育環境の維持整備を図る。						特別支援学校の維持整備 学校運営に要する経費の支出 教育環境の維持整備  2022年度当初予算から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用事業へ組替え							

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		9,499	11,457
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	372	1,415
一般財源		9,127	10,042
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	1,647.5	1,647.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,358.6	2,358.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		11,857.6	13,815.6

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,609	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、修繕料等1,609
12節 委託費	797	警備保障委託料797
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	100	教科研究会負担金外100
その他	6,993	給料2,348、職員手当485、共済費587、備品購入費370、教材備品購入費280、図書購入費195、ほか2,728

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,945	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、修繕料等1,945
12節 委託費	1,455	警備保障委託料、事務機器保守点検委託料等1,455
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	599	教科研究会負担金外599
その他	7,458	給料2,396、職員手当658、共済費633、備品購入費735、教材備品購入費230、図書購入費195、ほか2,611

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	「地域の子どもは地域で育てる」の理念に基づき、学校の適切な管理運営を行い、特別支援教育の充実を図るため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	「地域の子どもは地域で育てる」の理念に基づき、学校の適切な管理運営を行い、特別支援教育の充実を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	学校の設備の状況等、教育的な要望等を十分把握し、効率的な管理運営に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

「地域の子どもは地域で育てる」の理念実現に向け、支援学校の教育充実や環境整備等の管理運営を行った。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

教育環境整備等、特別支援教育の充実に努める

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

学校の適切な管理運営を行い、特別支援教育の充実に  
図った。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	七海 翔太
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3615
<b>事務事業名</b>	4273 健康管理事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費									
	<b>事業</b>	020000 健康管理事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
学校保健安全法に基づき、健康に疾患を有する児童・生徒及び学校職員を可及的早期に発見し、健康の保持促進を図るため、健康診断、その他学校保健に必要な予防対策を講じる。						学校は、大勢の児童生徒が学び、集団生活をする場として、安全で有意義な学校生活を送れる環境が必要である。さらに、児童・生徒・教職員の健康の保持増進は、学校教育における学習能率の基礎となり、学校教育の円滑な実施とその成果につながる。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		22,786	24,696
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17	29
一般財源	22,769	24,667	
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.3	0.3
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	988.5	988.5
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	1,142.6	1,142.6
市民一人当たりの経費	0.5	0.5	
総額	23,928.6	25,838.6	

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,517	医師等謝礼1,517
10節 需用費	3	食糧費、医薬材料費3
12節 委託費	6,612	検査委託料6,612
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	53	学校医会負担金・結核対策委員会負担金53
その他	14,601	機器賃借料ほか14,601

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,638	医師等謝礼1,638
10節 需用費	150	食糧費・医薬材料費150
12節 委託費	8,165	検査委託料8,165
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	58	学校医会負担金・結核対策委員会負担金58
その他	14,685	機器賃借料、備品購入費ほか14,685

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	児童生徒、教職員の健康の保持増進は、学校教育における学習能率の基礎となり、学校教育の円滑な実施とその成果につながる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	児童生徒、教職員の疾病の早期発見や健康管理の推進が図られた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	医師、検査機関、学校が連絡を取り合い、効率的に実施できるようにしている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生活習慣病検査において、指導が必要な児童生徒には、養護教諭が食事・運動・生活等の指導を行い、健康の増進に努めている。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

児童、生徒、教職員の健康増進に努めている

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

児童、生徒、教職員の健康増進に努めている

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	七海 翔太
		全体計画				経費区分		-		内線	3615
事務事業名	4274 学校保健事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費									
	事業	030000 学校保健事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校内の環境衛生を整え、伝染病予防等を図る。 また、学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付が受けられるようにする。						学校では児童・生徒等の災害を起こさないことが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童・生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		9,129	9,155
特定財源	国庫支出金	8,799	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2	5
一般財源	328	9,150	
人員数(人)	正規職員	0.4	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,133.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	2,998.5	2,287.4
市民一人当たりの経費	0.2	0.2	
総額	12,127.5	11,442.4	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,371	消耗品、印刷製本費、医薬材料費 等4,371
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,714	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金、県都市学校保健会負担金 等3714
その他	1,044	手数料1,044

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,640	消耗品費、印刷製本費、医薬材料費 等4,640
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,701	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金、県都市学校保健会負担金 等3,701
その他	814	手数料763、備品購入費51

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	学校内の衛生環境を整え、伝染病予防等を図る。また、学校管理下における児童生徒の災害時（負傷、疾病等）に必要な給付が受けられるようにする。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	学校では児童生徒等の災害を発生させないことが肝要であるため、学校の衛生環境を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	児童生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

児童生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施することができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
児童生徒の健康維持に努めた		児童生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施した。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	土屋 尚代
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費					
	事業	020000 学校給食センター管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
安全でおいしく、ていねいに真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。				「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携を図り、児童生徒への食育を計画的に進める。 また、地域食材の活用や行事食献立等を通して、地域や食文化などを知る機会とする。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等とおして、地域や食文化などを知る機会とした。「つながる食育推進事業」を実施した。	「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等を実施し、地域や食文化などを知る機会を設けた。食物アレルギー対応食の提供を行った。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進める。地域食材の活用や行事献立等を通して、地域や食文化を知る機会とする。「つながる食育推進事業」のさらなる展開を図る。食物アレルギー対応食の提供を行う。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100 (6月・11月率平均)				単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	47.5	48		
	実績	69.5			
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率（全県・食材数ベース） 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度 目標の根拠					
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量 (kg) ÷ 全体購入量 (kg) × 100				単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	12.3	12.3		
	実績	9.8			
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		537,256	541,990
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	253,985	263,082
一般財源		283,271	278,908
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.8
	会計年度(フル)	0.9	1.0
	会計年度(パート)	1.4	2.3
人員 コスト	正規職員	4,977.7	5,688.8
	会計年度(フル)	2,965.5	3,295.0
	会計年度(パート)	2,157.4	3,544.3
	計	10,100.6	12,528.1
市民一人当たりの経費		10.5	10.6
総額		547,356.6	554,518.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	305,675	賄材料費255,960、燃料費67、光熱費46,246、修繕料397、その他3,005
12節 委託費	215,462	生ごみ処理470、衛生管理アドバイザー330、維持管理運營業務205,202 PFIモニタリング業務9,130、学校給食費システム変更330
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,304	県栄養士会負担金16、学校給食費管理システム1,288
その他	14,815	機器賃借料3,558、手数料1,918、その他9,339

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	105	食物アレルギー講演会講師謝礼100、その他5
10節 需用費	317,489	賄材料費263,082、燃料費120、光熱費50,780、修繕料500、その他3,007
12節 委託費	207,827	生ごみ処理1,097、衛生管理アドバイザー業務330、維持管理運営業務205,850 栄養管理ソフト保守委託料550
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,335	県栄養士部会負担金16、学校給食費管理システム導入負担金1,289、食物アレルギー等会議出席負担金30
その他	15,234	機器賃借料1,715、手数料2,987、その他10,532

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	学校給食法の規定により義務教育学校には必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	新施設になったことにより、アレルギー対応食の提供等が可能となった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	設備等が新しくなったことにより、業務効率が上がった。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

新学校給食センターでの調理を開始したが、大きな混乱等もなく、円滑に調理業務を行うことができた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>新学校給食センターからの給食開始年度となったが、安心安全な給食の提供ができた。生きた教材として引き続き食育の推進を進めていく。</p>	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>新学校給食センターでの業務を開始したが、円滑に業務を行うことができた。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	土屋 尚代
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	246-2104
<b>事務事業名</b>	4277 学校給食センター施設整備事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	03021000 特色ある教育の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	00									
	<b>科目</b>	xxxxxx									
	<b>事業</b>	xx0000 学校給食センター施設整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。						昭和51年建設の給食センターを、現在の衛生基準に則した新しい施設に建替える。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
令和2年12月に新学校給食センターが完成し、4月からの稼働に向けて準備を行った。	新学校給食センターにて学校給食の提供を開始し、旧学校給食センターの解体工事を行った。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	新センター建設進捗状況：工事費				
算式	実施した工事の総額÷必要な工事の総額×100				単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	100			
	実績	100			
指標選定の理由	解体工事費用50,000,000円				
最終年度目標の根拠	令和3年度を100%とする。				
指標名					
算式					単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		47,080	0
特定財源	国庫支出金	25,013	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		22,067	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	0.0
市民一人当たりの経費		0.9	0.0
総額		47,791.1	0.0

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	47,080	旧学校給食センター解体工事47,080,000円
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	新学校給食センターの稼働に伴い、旧学校給食センターの解体が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	旧施設の解体を行ったことにより、跡地利用が可能となった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	旧施設の解体を安全に効率よく実施できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
旧学校給食センターの解体工事が終了し、新学校給食センターへの施設移行が完了した。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
PFI事業を生かし、効率的で効果的な維持管理運営を行う。		旧学校給食センターの解体を計画どおり実施した。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉敦
	全体計画				経費区分			-		内線	3645
事務事業名	4298 健全育成推進事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	03021100 児童・青少年健全育成の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費									
	事業	010000 健全育成推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーの開催や「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。						家庭・地域の教育力を向上させるため保護者など大人を対象にした「子育てセミナー」を開催。 子どもたちの手による子ども会活動への支援。 各町の育成会活動への支援。 児童を対象としたドッチビー交流会の開催。 子ども会リーダー養成研修会を行い、次の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）となる子どもたちを養成する。					

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会の開催	子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会の開催
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、すぎか子どもフェスティバル、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）の開催	子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、すぎか子どもフェスティバル、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）の開催
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、すぎか子どもフェスティバル、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）の開催	子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、すぎか子どもフェスティバル、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）の開催

指標名	子育てセミナーの開催件数						
算式	年間件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	52	52	52	52	52	
	実績	21					
指標選定の理由	地域の自主的な開催を支援し、地域で関わる気運の醸成を図る。						
最終年度目標の根拠	少子化により子育て世帯が減少する中で、ニーズに沿ったテーマ設定などをし、各町育成会や幼保認定こども園等多くの場で多くの方に聴講いただけるよう現状を維持する。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		12,099	13,637
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,894	4,000
一般財源		8,205	9,637
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	会計年度(フル)	0.8	0.8
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	6,399.9	6,399.9
	会計年度(フル)	2,636.0	2,636.0
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	9,190.0	9,190.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,289.0	22,827.0

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	209	子育てセミナー等講師謝礼105、「家庭の日」作文ポスター審査委員謝礼30、家庭の日作文ポスター応募記念品代等74
10節 需用費	342	消耗品費62、家庭の日作文ポスター入賞作品集等印刷費259、会議等茶代21
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,497	子ども会育成連絡協議会負担金539、児童青少年健全育成運動施設整備事業補助金35、育成会活動交付金4,923
その他	6,051	人件費5,868、旅費7、通信運搬費(郵便料)151、機器賃借料25

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	615	子育てセミナー等講師謝礼400、「家庭の日」作文ポスター審査委員等謝礼133、家庭の日作文ポスター応募記念品代等82
10節 需用費	430	消耗品費90、会議等食糧費60、資料・チラシ・家庭の日入賞作品集等印刷費280
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,882	育成会活動交付金5,162、運動施設補助金166、子ども会育成連絡協議会負担金554
その他	6,710	人件費6,402、通信運搬費（郵便料）200、旅費62、委員報酬46

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	地域コミュニティの希薄化・核家族化・少子化が進む社会の中で、子ども会・育成会など地域活動の支援、子育てセミナー・家庭の日の普及啓発を行い、地域・家庭における教育力の向上を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会リーダー養成研修会では、須坂リーダーズクラブが企画運営し、子ども会のリーダーとなる児童を養成した。</li> <li>子ども会会長会研修会では、コロナ禍の影響により中止となった子どもフェスティバルの企画運営の代わりに、臥竜公園でオリエンテーリングを行った。</li> <li>子育てセミナーを各町育成会、幼保認定こども園で開催し、保護者等の教育力の向上を図った。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	育成会活動交付金を2020年度より減額した。コロナ禍で各町育成会事業実施が困難なため、感染症対策など相談に応じた。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の影響により、各イベント開催が難しい状況が続いている。感染対策・感染状況をみながら開催し、自主性・社会性・協調性を身に付け、個性豊かにたくましく成長できるよう、引き続き家庭・地域における教育力の向上を図る必要がある。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域コミュニティの希薄化や核家族化・少子化が進む社会の中にあって、子どもたち自身の成長と見守る大人の教育力の双方の充実を図るため家庭、地域、学校の更なる連携による事業を推進する。		コロナ禍にあって中止となる事業もあったが、子ども会・育成会等の地域活動を支援し、家庭の日普及実践活動等を通じ、家庭の教育力向上のための支援に努めた。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	小泉敦
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3645
事務事業名	4300 児童青少年育成センター事業	
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課	
施 策	03021100 児童・青少年健全育成の推進	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費
	事業	030000 児童青少年育成センター事業
事業目的		事業概要・効果
育成委員を中心とする街頭巡視補導活動を通して児童・青少年が非行に走らないよう予防活動に努める。また、環境浄化活動の一環として、有害図書等自動販売機、酒類・たばこの販売方法等有害な環境のチェック活動と商店等へ改善をお願いをする。		「地域の子どもたちは地域で守り育てる」地域から選出された児童青少年育成委員による街頭巡視補導活動で、子どもたちへ「愛の声かけ」を積極的に行い、登下校時等の子どもたちを見守るとともに、非行の未然防止に努める。 また、児童青少年育成委員会「善行賞」表彰を通じ、地域の子どもたちが取り組んでいる善い行い（活動）に対して大人がしっかりと褒めることで、子どもたちの活動意欲向上につなげる。

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰

指標名	児童青少年育成委員会善行賞の累計件数						
算式	表彰数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	2	2	2	2	2	
	実績						
指標選定の理由	地域で頑張っている子どもたちに表彰を行い、自己肯定感の高揚に繋げる。						
最終年度目標の根拠	育成会や学校等にも広く周知し、より多くの子どもたちが表彰されるようにしたい。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		1,304	1,744
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,304	1,744
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	3,555.5	3,555.5
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	4,039.1	4,039.1
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,343.1	5,783.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,039	育成委員巡回活動謝礼1,039
10節 需用費	77	消耗品費48、会議等茶代29
12節 委託費	60	健全育成啓発看板整備委託料60
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	61	上部組織への負担金・研修参加負担金10、活動団体補助金51
その他	67	育成委員保険料68

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,187	育成委員巡回活動謝礼1,171、研修会講師謝礼8、記念品代外8
10節 需用費	150	消耗品費80、会議食糧費70
12節 委託費	60	健全育成啓発看板整備委託料60
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	215	上部組織への負担金及び研修会参加負担金106、活動団体補助金109
その他	132	旅費65、育成委員保険料67

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成委員による巡回活動等による声かけを通じ、青少年の非行の未然防止を図る。</li> <li>環境浄化活動として、青少年にとって有害となるタバコ・酒類・ポルノ雑誌等の店舗チェックを行い、必要な場合は改善までお願いしている。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成委員による巡回活動等による声かけ・店舗チェックにより、地域を見守っている安心感と抑止力につながる。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回する際、事前にルート決定や確認事項など、各小学校ブロックごとに話し合い、効率的な巡回活動を行っている。</li> </ul>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

育成委員も平日は仕事をしている方が多く、学校の登下校時間に合わせた巡回は難しい。巡回日時の検討や育成委員の構成について見直しも必要。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
市内全域で子どもたちを見守るための巡回活動等を行っており子どもたちの非行の未然防止の力となっている。		児童青少年育成委員による街頭巡視活動は、犯罪や非行の未然防止の寄与している。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小泉敦
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3645
<b>事務事業名</b>	4301 農業小学校運営事業											
<b>所 属</b>	300200 教育委員会事務局・子ども課											
<b>施 策</b>	03021100 児童・青少年健全育成の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費										
	<b>事業</b>	040000 農業小学校運営事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
子どもたちが、農業の厳しさや楽しさを体験し、たくましい精神力・創造力などを身につけ、世代間交流を通し、仲間づくりや地域連帯感を養い、地域の文化に触れる。						農業体験を通じ、「農業」の厳しさ、楽しさ、食の複雑さを知ることと併せ、異年齢の子ども達や大人達と触れ合うことによるコミュニケーション能力を身に付け、子どもたちの健全な成長の一助とする。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
年間12回授業を計画したが、コロナ禍の影響により9回授業を実施した。17名の児童と保護者が参加	コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集	コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集	コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		617	975
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	545	725
一般財源		72	250
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	1,232.8	1,232.8
	計	3,695.6	3,695.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,312.6	4,670.6

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	81	消耗品費81
12節 委託費	500	農地管理運営委託料500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	36	役務費(郵便料)7、土地借上料25、機器賃借料4

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	100	消耗品費100
12節 委託費	500	農地管理運営委託料500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	375	旅費337、役務費(郵便料)13、土地借上料25

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	地元の方が農家先生となり、農作業の体験だけでなく、郷土食や地域の文化に触れ、親子の触れ合う機会になっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	農業体験を通じて、食べ物の大切さや伝統食などを学ぶことができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	保護者も子どもと一緒に作業を行い時間の短縮を図った。	

## 振り返り(決算年度の取組み課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響により、短縮した授業内容への見直し、班分けして作業を行うなど対策を講じた。</li> <li>農家先生の高齢化により、授業回数・時間など負担軽減を図った。</li> </ul>
---

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>2021年度はコロナ以前と比較しても入学者が増加するなど農業体験を通じた学びに対する期待が感じられる。</p> <p>農家先生の高齢化が進んでいることから引き続き負担軽減等事業改善を図りたい。</p>		<p>多くの参加者を得て開催することができた。地域の人や保護者とのふれあい、また、異年齢の子ども同士がふれあう機会をつくることができた。農家先生の高齢化が進んでいることから引き続き負担軽減等事業改善を図りたい。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性
外部評価コメント